

山紫海碧

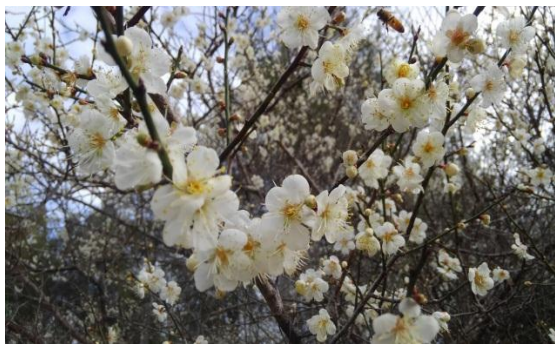
H29Ver

東 村 立 有 銘 小 学 校

児童数 男 13 人 女 13 人 計 26 人

山紫に海碧く 万古に清き有銘川 ♪

発行 校長 古 謝 治

ウメ 学名: *Prunus mume*ヒカンザクラ 学名: *Cerasus campanulata*

どちらもバラ科サクラ属の落葉高木の梅と桜。写真左のウメは、いつごろ植樹されたかわからないが、体育館西側に4本植えられているウメの木。1月中旬頃に満開となり、辺り一面にいい香りを漂わせ、たくさんのミツバチたちが忙しそうに飛び回っていた。近くでは名護市大湿帯の梅並木が有名だが、有銘小学校内でも十分に花見ができた。ウメは、英語で Japanese plum とよばれたり、Japanese apricot と言われたりするが、ume だけでも十分通用するくらい、日本を代表する木になっている。ちなみにプラムはスモモで、アプリコットはアンズのこと。花の時期は終わったが、働き者のミツバチたちが受粉してくれたおかげで、今年もたくさんのウメの実が収穫できそうである。

写真右のサクラは、有銘小学校運動場奥の小川沿いにボツンと1本だけ立っているサクラの木。今年も見事に満開し、枝々の間を楽しそうにメジロが飛びかっている。釣り鐘状の花が特徴なサクラ。学名の *campanulata* は「カンパニユウのような」という意味で、キキョウ科のカンパニユウ属の花が下向きに咲く所になぞられて名付けられた。

今年は記録的な最強寒波で、全国的に厳しい寒さとなり日本列島が凍りついているが、日本一早く桜が開花する沖縄、そして本土とは逆に桜前線が南下する沖縄では、本部・名護で桜祭りが開幕した。校庭は今、コスモスやベゴニア、ナデシコ、クリサンセマム、パンジーなどが咲き誇っている。南北に長い日本列島。亜熱帯沖縄の植物たちにとって、2月は、もうすっかり春ですね。



児童交流の翼 山形県酒田市八幡訪問



今年で24回目となった山形県八幡地区への訪問は、最強寒波の影響でこれまでにないくらいの雪雪雪だったそうです。吹雪の中、2回目のアプローチで無事「庄内空港」へ着陸。初めての飛行機、初めての雪、初めてのスキー、初めての雪合戦、初めての雪だるまづくり、初めてのかまくら、初めての温泉、初めての民泊などなど思いっきり雪国を満喫し、おまけに大都会「東京」見学も！！

4泊5日の児童交流の翼で、生涯忘れることのできない最高の思い出をつくることのできたことでしょうか！訪問団員全員が体調を崩すこともなく、全員無事に帰ってきました。八幡のみなさま、本当にお世話になりました。ありがとうございました。





一生の思い出に残る貴重な体験をすることができました！八幡のみなさん、東村のみなさんに♡ 感謝 ♡



職員の病気休職と New Face のお知らせ



森真子
(養護教諭)

待望の赤ちゃん（二人目）を授かったのですが、今年度いっぱい「自宅安静を要する」との診断があり、急遽お休みをいただくことになりました。突然の休みになりましたが、元気な赤ちゃんを育てるためです。ご理解よろしくお願いします。

真子先生がお休みに入ることによって代わりにお世話になります。友寄千秋と言います。少しずつ有銘小学校に慣れるように、また子どもたちと楽しく過ごしていきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願いします。



友寄千秋
(養護教諭)

「福祉のお仕事入門教室」（3～5年生）がありました！

将来の福祉社会を担う子どもたちへのキャリア教育の一環として、福祉の仕事の魅力や福祉の職場や職種などについて、講話や疑似体験を通して理解を深めさせる授業を行いました。講師として、東村社会福祉協議会の山口栄氏と名護市社会福祉協議会より4人の方をお招きしました。（講話の他に車いす体験&アイマスク体験&高齢者疑似体験などを行いました。）



ふ
だ
ん
の

く
う
し
の

し
あ
わ
せ